ニューズレター第48号　2025年10月20日発行

一般社団法人 日本音楽療法学会北海道支部

ニューズレター 第48号

ごあいさつ

日本音楽療法学会北海道支部長　近藤里美

北海道支部会員の皆様におかれましては、日頃から支部活動・運営にご支援、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。このニューズレターが皆様のお手元に届く頃には、酷暑の夏をなんとか乗り越えて、涼やかな風が吹き、秋の気配を感じられる季節になっていることと思います。

さて、このたびの評議員選挙を経て、新たに10名の評議員が選出され、北海道支部は新体制での歩みをスタートいたしました。これからの3年間、評議員一同、会員の皆様にとって魅力ある学びの場や交流の方法を模索しながら活動を進めてまいります。特に、年々支部大会への参加人数が減少している現状を踏まえ、内容や進め方、また参加しやすい方法など、ぜひ会員の皆様からのご意見を伺いながら、一緒に作り上げていければと考えております。

その一環として、第46回北海道支部大会は、積雪や交通事情が不安定な北海道の事情をふまえ、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で実施することといたしました。どの地域からでも安心してご参加いただけるよう、少しでもハードルを下げられたらと思っています。さらに第46回支部大会では、新しい試みとして「講演と対話」を企画いたしました。招聘講師には、昨年の学術大会オンデマンド講習会にて大変好評だった音楽神経学の藤井進也先生をお招きいたします。藤井先生には、「音楽のちから」を音楽神経科学の最新の研究成果を交えてご講演いただく予定です。その後には、皆様が日々の実践や研究で感じていること、ちょっとした疑問や気づきなどを持ち寄り、リラックスした雰囲気の中で先生と対話できる場を創ります。学びながら交流し、互いに成長できればと願っています。

ここで、会員の皆様に大切なお知らせがございます。新評議員会では、会員数や大会参加者の減少という課題に対応するために、より迅速で確実に情報を届け、参加へのきっかけづくりにつながる工夫を考えました。その具体的な一歩として、この秋から**北海道支部メールマガジンの配信（メルマガ配信）をスタートいたします。**

メルマガ配信では、北海道支部大会やイベントの案内、日本音楽療法学会本部からのお知らせ、全国の支部大会やセミナーの情報など、会員の皆様に役立つ最新情報をいち早くお届けいたします。**さらに、登録者限定の特典として、メルマガにご登録の支部会員は、北海道支部大会の参加費が500円引きとなります！**登録はとても簡単です。下記のQRコード、またはURLからアクセスして、必要情報を入力するだけです。ぜひこの機会にご登録いただき、便利でお得な情報配信を活用してください！

https://forms.gle/VhMi1hncq3HdgUTH9

なお、本件につきましては、今年度の総会では議題として取り上げられてはおりませんでしたが、新評議員会の試みとしてスタートさせていただきました。来年度の総会で改めてご報告させていただく予定です。

これからも北海道支部は、会員の皆様とともに「小さな支部だからこそできること」を大切にしながら、次世代へとバトンを繋いでいきたいと思います。今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年北海道支部総会報告

事務局長　下出理恵子

2025年度の総会は、会員151名へ総会のお知らせを郵送し、出席が32名、委任状を66名の会員から返信いただき過半数を超える98名となり久しぶりの対面で行なうことができました。2024年度の事業報告と収支決算報告の承認、および2025年度の事業計画と予算案が原案通り可決されました。会員の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

また、出席の会員から、これからの支部大会開催についての要望などもいただき、今後も支部の発展のために会員の皆様と共に頑張っていきたいと思っております。

第45回日本音楽療法学会 北海道支部大会報告　研修委員会

一般演題【1】

「小集団から個別の音楽活動が成立するまでのプロセス 」 ―繰り返し音楽を聴くことによる記憶と定着の重要性―」

演者：赤間 由加里

一般演題【2】

「アートセラピー・音楽療法の共同プログラムにおける各療法の特性と相乗効果の考察」

演者：増澤 綾子

講演・ワークショップ

『ミュージックカウンセリングの理論と実際』　『音楽心理療法を実践する上で自分を知ることの意義』

講師：猪狩 裕史 先生 (名古屋音楽大学音楽療法コース教授)

令和7年6月28日、北海道医療大学サテライトキャンパスにて第45回北海道支部大会が開催されました。当日は6月末とは思えない暑さの中、35名の参加者にお集まりいただきました。午前中は、久しぶりとなる一般演題の発表と、選挙結果を含む総会を行いました。午後からは、名古屋音楽大学音楽療法コース教授・猪狩裕史先生をお招きし、ミュージックカウンセリングに関するご講演をいただきました。

赤間 由加里氏

赤間由加里氏による演題1は、小集団から個別活動へと移行したクライエントの事例が紹介されました。音楽に合わせたイラストなどの工夫を取り入れることで自発的な反応を引き出し、活動が発展していった様子が語られました。質疑応答では、ラポール形成や集団・個別活動における関係性の違いが話題となりました。

増澤 綾子氏

増澤綾子氏による演題2は、アートセラピーで制作した自作楽器を使った音楽活動の実践について、写真や映像を交えて発表されました。異なる療法の特性を比較・検討する意義が強調され、参加者からも多くの質問や意見が寄せられ、第2報への期待が高まりました。

猪狩 裕史 先生

猪狩先生によるご講演では、心理療法全般の概要から具体的な臨床例まで幅広くお話しいただきました。特にアメリカでの臨床ケースを音声資料とともに紹介され、即興査定プロファイル（IAPs）の解説は参加者にとって大きな学びとなりました。後半は「逆転移」をテーマに、セラピスト自身の体験や傾向が臨床に及ぼす影響、自己内省の重要性について詳しくお話しいただきました。さらに、健全な心理状態を保つためのスーパービジョンの活用についても提言があり、参加者にとって実践的な気づきの多い時間となりました。

終了後のアンケートでは、今後の大会運営に関するご意見と共に、ミュージックカウンセリングへの関心の高さが伺えました。特に「猪狩先生のお話をもっと聞きたい」との声が多く寄せられており、今後の企画にも活かしてまいります。（文責：小森）

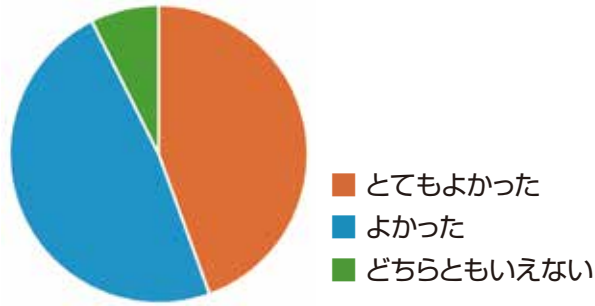
第45回北海道支部大会 確認テスト・アンケート結果報告

日　時:2025年6月28日(土)10:00~15:30
場　所:北海道医療大学サテライトキャンパス

確認テスト・アンケート：支部大会ホームページから回答・・回答者数 27名　参加証該当者数 25名
自由記載を除くQ1～Q6までの結果を公表致します。

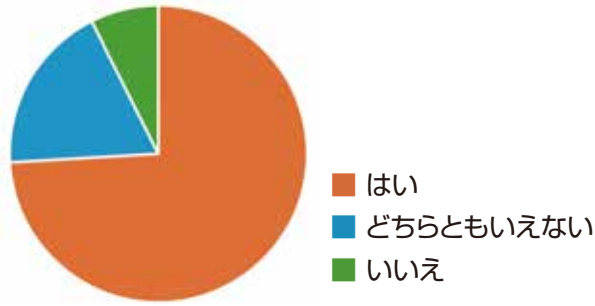
Q1. 一般演題1はいかがでしたか?

・とてもよかった・・・・・・12名
・よかった・・・・・・・・・・・13名
・どちらともいえない・・・・2名



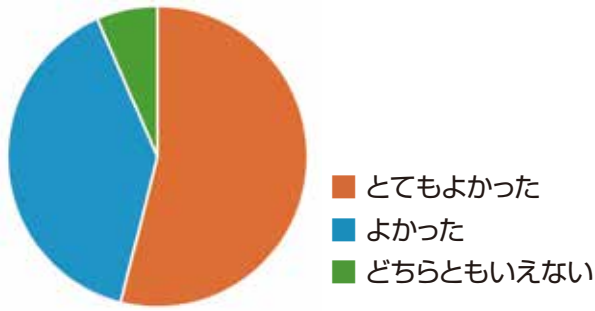
Q2. 一般演題1はご自身の実践に役立つか?

・はい・・・・・・・・・・・・・・20名
・どちらともいえない・・・・5名
・いいえ・・・・・・・・・・・・・2名



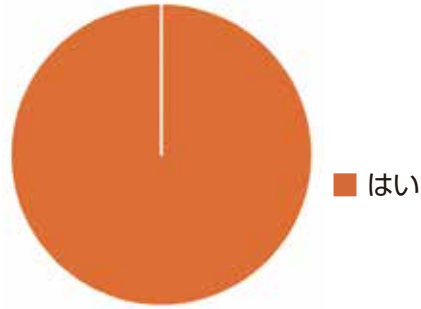
Q3. 一般演題2はいかがでしたか?

・とてもよかった・・・・・・・20名
・よかった・・・・・・・・・・・・・6名
・どちらともいえない・・・・・1名



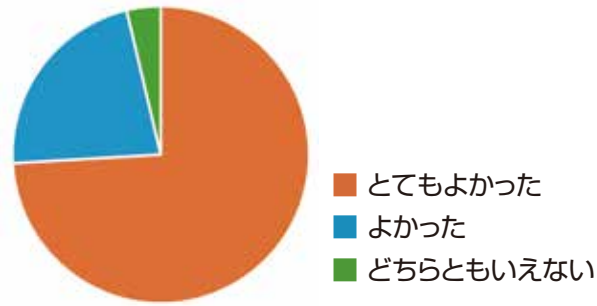
Q4. 一般演題2はご自身の実践に役立つか?

・はい・・・・・・27名



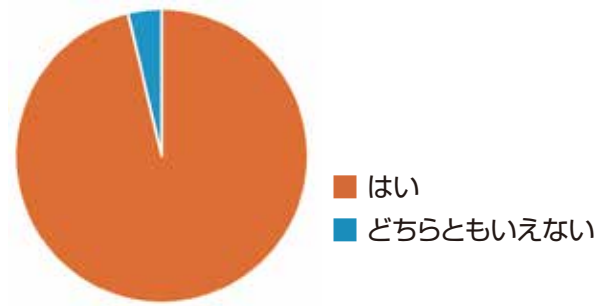
Q5. 講演はいかがでしたか?

・とてもよかった・・・・・・20名
・よかった・・・・・・・・・・・・6名
・どちらともいえない・・・・1名



Q6. 講演はご自身の実践に役立つか?

・はい・・・・・・・・・・・・・・26名
・どちらともいえない・・・・1名



日本音楽療法学会北海道支部　新評議員紹介

北海道支部長　近藤 里美

この度、北海道支部長を務めさせていただくことになりました近藤里美です。北海道医療大学リハビリテーション科学部作業療法学科音楽療法コースの主担当として学生教育に携わっています。また重度認知症の方々の、ともすると見落としがちな繊細な「生き生きさ」を評価できるような尺度を日本語訳するために奮闘しています。支部大会の参加が少しずつ減ってきている今だからこそ、小さな支部ならではのあたたかい活動を会員の皆さまと一緒につくっていけたらと思います。また今期は、次の世代へのバトンタッチも大事なテーマとして考えています。どうぞよろしくお願いします。

北海道副支部長　増澤 綾子

この度、北海道副支部長を務めさせていただきます増澤綾子と申します。札幌柏葉会病院（前:柏葉脳神経外科病院）にて、脳神経外科領域の音楽療法に約20年携わってきました。音楽療法コースを卒業してすぐに働き始めた当初、一人職場に心細さを感じていましたが、北海道支部大会などで他の音楽療法士の方々に逢えること、また一緒に学び合えることに大変勇気づけられました。今後も北海道支部を、新しく療法士になられた方から経験豊富な方まで、会員の皆様がお互いに繋がりを感じ、「仲間」に逢える場所そして共に学びたいと思える支部にしていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

事務局長　下出 理恵子

皆さま、こんにちは。この度も評議員として、また事務局長のお役を務めさせていただくことになりました下出理恵子です。なんと評議員10人の中で最年長ですが、元気なのが私の取り柄で、この夏も孫たちとクワガタやバッタを探しに走り回っておりました。私は精神科デイケアでメンバーの皆さんと音楽を楽しみながらセッションに自問自答を繰り返し25年が過ぎました。

私自身が歌詞からのメッセージでパワーをもらうことがありがたく、そこで行き着いたのが「歌詞連想法」という技法です。「花のように　咲き誇る君は　○をふくらませたり　笑ったり　いろんな○○を見せて　輝いてる　そんな君にとって　僕は○のように　ありたい」この○に入る言葉をみんなから引き出すのです。ここが私の腕の見せどころ?なのですが、正解を求めることではなく、その言葉に行きつく過程でメンバーが表現することに感動します。事務局として会員の皆様が支部からの情報や、会報を読まれて頷いてもらえるように努力をしていきたいです。どうかよろしくお願い致します。さぁて皆さま、○の言葉は思いつきましたか?楽しんでくださいませ。

評議員　浅野 雅子

皆様、こんにちは。この度、北海道支部の評議員を務めさせていただくことになりました、北海道医療大学リハビリテーション科学部作業療法学科の浅野雅子です。自身は精神科領域における作業療法を専門としておりますが、同時に音楽療法についても学んでおり、細々とではございますが、現在も臨床実践に励んでおります。支部の皆さんと共に学びながら、少しでも皆様の臨床のお役に立てるような支部活動をしていけたらと思い、微力ながら努力して参りたいと思っておりますので、これから3年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

評議員　小川 いづみ

このたび評議員をさせていただくことになりました小川いづみです。普段はピアノとリトミックを教えていて、北海道リトミックセンターでは札幌市内の幼稚園児・保育園児にリトミック指導を行ない、道内の幼稚園・保育園・支援学校などの先生方にリトミック教育法の指導も行なっています。また北海道音楽療法センターでは道内各地の高齢者施設、児童デイサービスにて音楽療法をさせていただき、音楽療法士を目指す方々への講座にも携わっています。今後は、この北海道支部がさらに活気を持って活動していけるように、会員の皆様が気軽に参加できる場を提供できるように、微力ながら努力したいと考えておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

評議員　小森 亜希子

今回、二期目の評議委員を拝命いたしました小森亜希子です。今年の3月から厚別老人保健施設ディ・グリューネンに勤務しています。転職にあたり北海道での音楽療法の働く場の少なさを痛感しました。また音楽療法に対する悩みや不安、情報を共有できる場所が少ないようにも感じています。今回から、新しく創設された事務局補佐という任務を拝命いたしました。会員の皆様が北海道支部で多くの情報や学びを得られるように精進していきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

評議員　澤田 一枝

新評議員の澤田一枝です。私が音楽療法に興味を持ったのは、音楽の授業を担当している小樽市立高等看護学院の先生から「少しでもいいから音楽療法に触れていただけませんか」という一言からでした。あれから20年、今では「音楽」の授業は「音楽療法」の授業へと移り変わっています。というのも、看護師の卵達がツールとして音楽療法を認識することは大変意味深いと考えており、音楽のさまざまな側面を活かした看護をしてほしいと思うからです。また、若人から高齢者まで幅広い年代の方の歌の伴奏をする機会があり、健康寿命をのばす音楽療法にも注目しています。どうぞよろしくお願いいたします。

評議員　土屋 益子

この度研修・査読委員を務めさせて頂くことになりました土屋益子です。現在は児童通園施設、放課後等デイサービス、生活介護事業所などで非常勤職員、札幌大谷大学、北海道看護専門学校の非常勤講師として学生教育にも携わっております。これからの活動が支部会員の皆様にとって有意義で学び多いものになるよう、そして皆様に興味を持って頂きより多くの方にご参加いただけるよう、微力ではございますが精進していきたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

評議員　常田 いづみ

この度、広報・編集委員長を務めさせていただくことになりました常田いづみです。現在は、NPO法人さっぽろこどもさぽーとのびのびで主に就学前（2～5歳）の子どもたちと関わり発達支援を行っています。北海道支部評議員としては、ニューズレターでの情報発信はもちろんですが、HPやSNSでの広報活動を通して幅広い年代層の会員の皆様に支部活動に興味を持っていただき参加していただけるような情報発信をしていきたいと考えています。会員の皆様がより良い情報を得られるよう努力してまいりたいと思いますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

評議員　藤田 悦子

評議員として二期目と引き受けさせていただきます藤田悦子です。医療法人耕仁会札幌太田病院の作業療法・音楽療法課に所属しており、4つの病棟の入院患者様・3つのデイケア・1つのナイトケアや関連施設、外来においては思春期の患者様にも日々音楽療法を行っております。北海道支部の評議員として今回から査読・研修委員を承り、これから北海道支部会員の皆さまのご要望を受け止めつつ音楽療法の学びある場として、支部大会の開催ができるよう精進して参ります。会員の皆様が日々音楽療法を行っている中で不安や疑問・また学びたい事など少しでもお答えできるような支部大会に…と考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

第46回日本音楽療法学会 北海道支部大会のご案内

今回、慶應義塾大学の藤井進也先生をお迎えし、「リズムを処理する脳:ヒトの音楽性の起源」というテーマでご講演いただきます。

リズムは人間の音楽性の基盤であり、その処理メカニズムを学ぶことは、”ヒト”の理解へとつながります。発達・精神・高齢者など、あらゆる臨床領域において、日々の実践を新たな視点で捉える大きなヒントになるものと思います。

■日　　時：2025年12月7日(日曜日)10:30～15:30
[対面とオンラインのハイブリッド開催]

■場　　所：北海道医療大学サテライトキャンパス
(札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45　12階)

■プログラム(予定) ※都合により変更がある場合があります。

10:00　受付開始

10:30　講習開始・連絡事項など

10:35～12:05　**【講演】**
『リズムを処理する脳:ヒトの音楽性の起源』

12:05～13:05　休憩

13:05～13:35　**小グループにて講義を聴いての座談会**
会場及びzoomの参加者がそれぞれ小グループに分かれて、講演を聴いて自分の実践に関わることでさらに聞きたいこと、わかるといいなと思っていることなどを、気軽に座談会をします。

13:35～15:20　**座談会をもとに藤井先生との「対話」**

【講師：藤井 進也 先生】
慶應義塾大学 環境情報学部 准教授. 慶應義塾大学 音楽科学研究センター長. 慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス 音楽神経科学研究室 / エクスミュージック研究室室長.慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 研究科委員. 慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員(常勤). JST さきがけ研究者(兼任). VIE 株式会社 最高音楽責任者(兼任). 京都大学総合人間学部卒,京都大学大学院博士課程修了, 博士(人間・環境学). 日本学術振興会特別研究員 DC1(京都大学), PD(東京大学,ハーバード大学・ベスイスラエルディコーネスメディカルセンター), 海外特別研究員(トロント大学サニーブルックヘルスサイエンスセンター), 東京大学大学院教育学研究科特任助教, 慶應義塾大学専任講師を経て現職. ドラマーとしてアンミュージックスクール京都校を特待生認定修了. 専門は音楽神経科学・音楽身体科学.

※今回は演題発表の募集はございませんのでご了承ください。

■定　員：100名

■参　加　費：支部会員:2,000円 **※メルマガに登録済みの支部会員は1,500円!**
一般(非会員):2,000円／学生:無料

■申込期間：2025年10月20日 9:00～2025年11月26日 17:00締切厳守

■申込方法：北海道支部ホームページ上の「支部大会参加申し込みフォーム」に必要事項を入力してお申し込みください。

・当日欠席となる場合は、必ず事務局へご連絡ください。なお、当日の申込受付は行いませんので、必ず期日までに事前のお申し込みをお願い致します。
・遅刻早退する場合でも講習会の受講は認められますが、日本音楽療法学会の規定により、その理由によらず、**遅刻早退した講義はポイント対象となりません。**時間に余裕をもってお越しください。
・**プログラムや資料などの当日の配布はございません。**前日までに電波環境の良いところでダウンロードして頂き端末をご覧になるか、あらかじめプリントアウトしてご持参ください。当日の会場にWi-fi環境はございませんので、ご了承ください。
・大会後の確認テストの回答された方に参加証をメールにて送信いたします。**認定・更新のどちらの方も確認テストにご回答ください。**

※詳細につきましては、随時北海道支部ホームページにてアップデートされますので、定期的にホームページをご確認ください。

リレーコラム

「音楽療法とドラムサークル」　沼畑 理恵

音楽療法を10年以上活動してきて、もうひとつ私には挑戦したいことがあり、それが「ドラムサークル」でした。どのように学んでよいのかもわからず熱意は持ち続けていて、たまたま東京の音楽療法の研修で友人が「ドラムサークルあるけど参加する?」もちろん二つ返事で参加しました。その時の楽しいこと!!「衝撃を受けた」と言っても過言ではないくらいの感動をして、今でもそのときの気持ちは忘れません。その後札幌で学びたいと企画をした矢先、コロナ渦に入りこの企画が消え…。でも、チャンスは到来、たまたま、SNSで知った札幌でのドラムサークルに晴れて参加が出来ました。それからは、次々と病院、施設、養護学校、保育園等、野外のイベントなどの「ドラムサークル」に参加が出来ています。「ドラムサークル」のノンバーバルな世界でのコミュニケーション作り、リズムを感じて発散、能動的あること、どんな人でも参加できること、そしてそこには素晴らしい即興的音楽ができあがっていくこと、それはまさに私の音楽療法士として目指すことと同じで、今は自分の現場で取り入れています。「ドラムサークル」のファシリテートには失敗はありません。自分がどういうファシリテーターでいたいかという「在り方」、音楽理論や経験にとらわれず、その場に居合わせた人とともに即興的に創る「今ここに」、参加者同士気づきあって調和をとっていく「教えずして教える」というこの3つのキーワード、これはドラムサークルの研修で教わりました。このキーワードを忘れずに、これからも活動していきたいと思います。

北海道支部評議員会より

❶2025年度第1回評議員会
2025年5月13日(火)Zoom会議
- 報告事項・委員会報告
- 審議事項・第45回支部大会・総会について

❷第2回評議員会
2025年6月18日(水)Zoom会議
- 報告事項・理事会報告、委員会報告
- 審議事項・第45回支部大会・総会について

❸第3回評議員会
2025年7月16日(水)Zoom会議
- 新評議員で初会議となり役員選出
- 審議事項・委員会組成と構成員について、第46回支部大会開催について

❹第4回評議員会
2025年8月5日(火)Zoom会議
- 委員会報告
- 審議事項・第46回支部大会について、第48号ニューズレター発行について

支部会員の動向

2025年8月31日現在会員数　143名

編集後記

今年度より新たな評議員に変わりニューズレターの紙面にも少しずつ変更を加えたいと考えております。またメルマガでの情報発信など会員の皆様が興味を持ちより良い学びの場を共有できるように努めていく所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

広報・編集委員(小川いづみ・小森亜希子・近藤里美・常田いづみ)

●事務局からのお知らせ

- 広報・編集委員会が支部大会で撮影した画像をニューズレターやホームページに掲載する場合があります。不都合のある方は事務局までご連絡ください。
- 北海道支部大会そのほかの情報については支部ホームページで随時更新しておりますので、**是非定期的にホームページをご覧くださるようにお願い致します。**
- **ご住所や氏名の変更のある会員、各種手続きが必要な会員の方は学会本部事務局まで**お問い合わせください。北海道支部では手続きができませんのでどうかよろしくお願い致します。
- **皆さまのメルマガ登録をお待ちしております！！！**

ホームページもご覧ください

‣ 一般社団法人 日本音楽療法学会ホームページ　http://www.jmta.jp/　‣ 北海道支部ホームページ　http://www.jmta-h.jp/

一般社団法人 **日本音楽療法学会北海道支部事務局**
〒062-0922 札幌市豊平区中の島2条1丁目3-25 カムオンビル　Email:jmta.hokkaido.reiwa@gmail.com